





……彼奴め
何故
手を出して
来ぬのじゃ!!

おなご
女子が! 妾が!
ここまで
しておる
というのに!!



いや……教鞭を
執る者として
真つ当なこと
この上ない
のじゃが……

じゃが……

然すれば
妾が道化の
ようでは
ないかえ!?

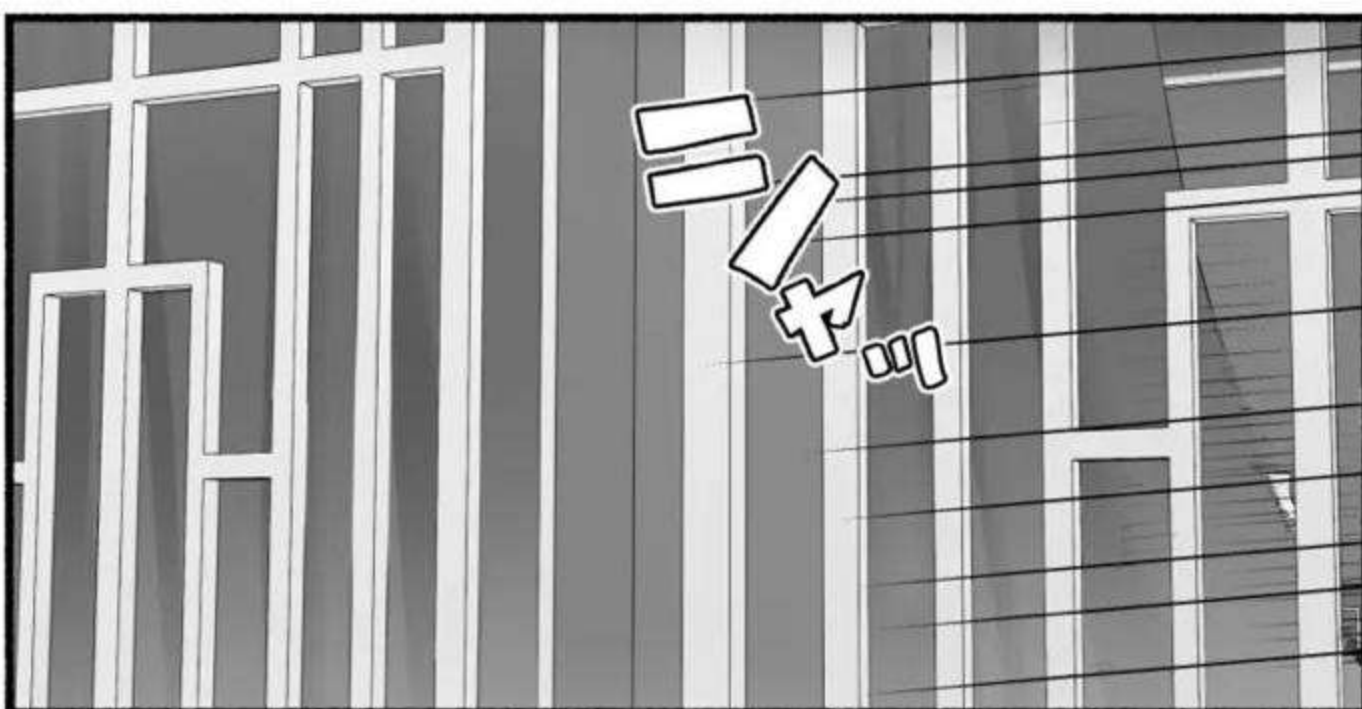
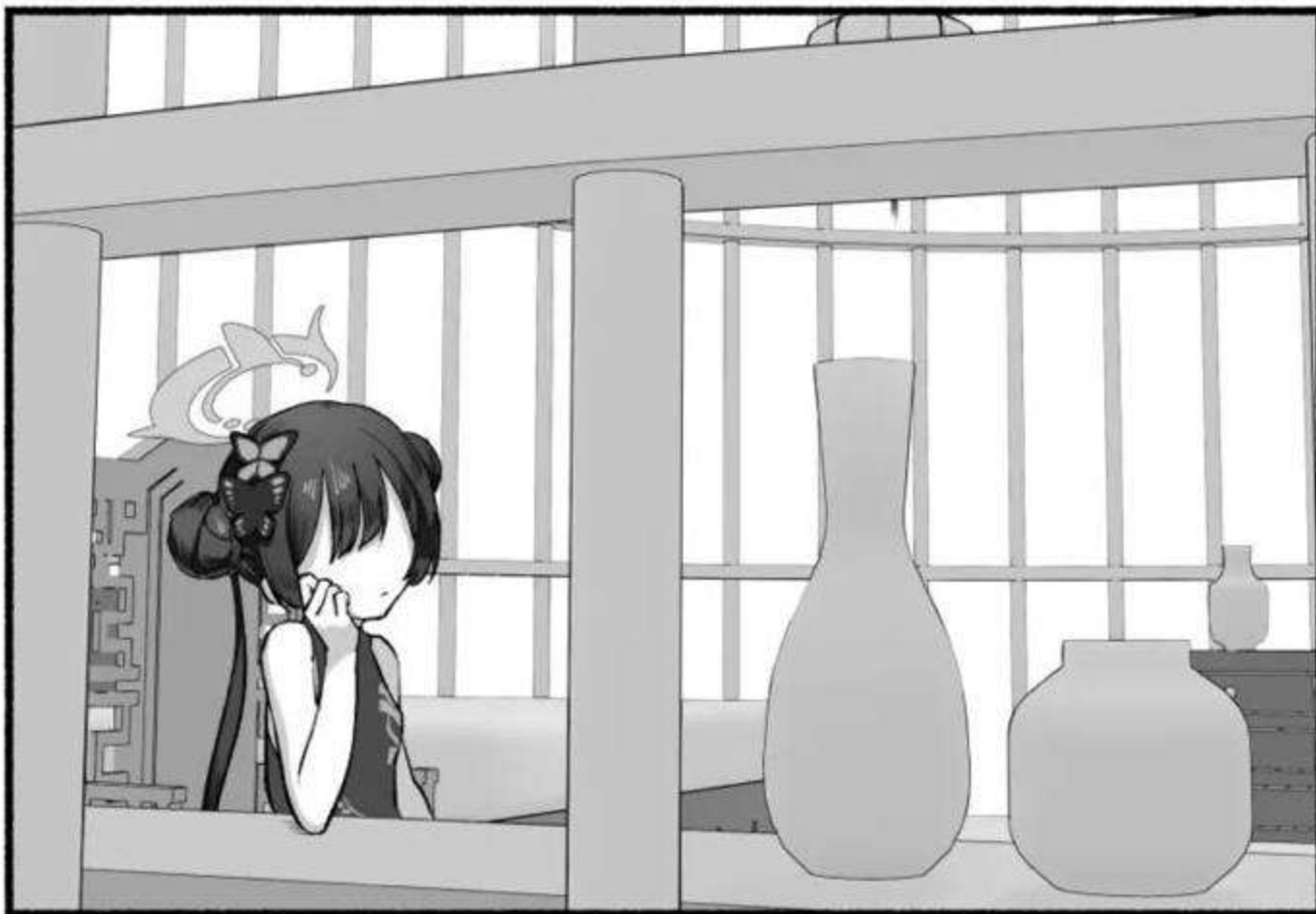


い……いかん
居らぬ者に
乱されるなど……

……

うん、行こうか。









山海經

役割 玄龍門

未来

私奉公 伝結

いつ

後継 ミナ…？

元の身体に

武商会 申谷

一生

楽師 義を見てせ

このまま

外の世界 治らな 約束

必ず隣有り

天を怨みず

一生のま

……んせ……

いゆ……

せん……

はっ

お……

えつと……
初めまして

キサキちゃん

じゃれ合いたいのか？

ばーん

服を着るときは
のことを
出してほしい……？

……。



.....

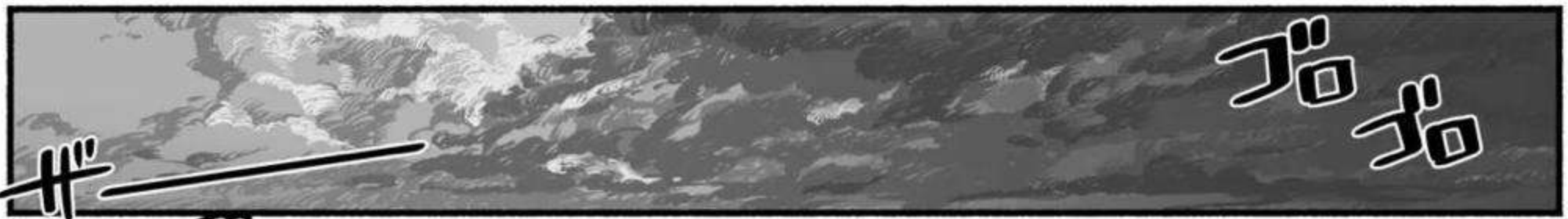


彼奴め…
幾らなんでも
妾のことを
舐め過ぎ
じゃないかの…



思い返したら
段々と腹が
立ってきたのう…

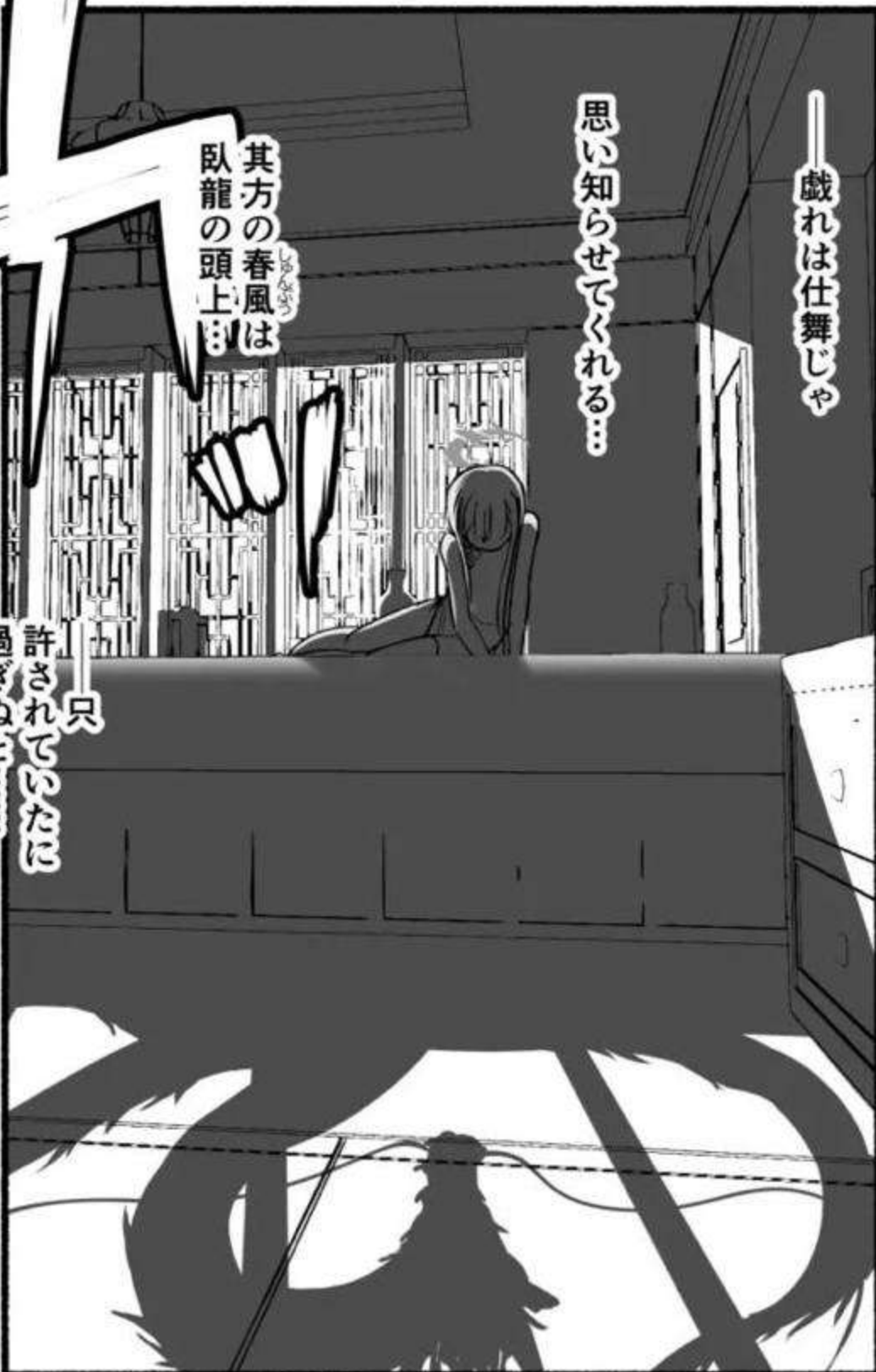
おんい



君が、君自身を諦めないでほしい。



あの世の
すゝめさんか……



——戯れは仕舞じや

思い知らせてくれる…

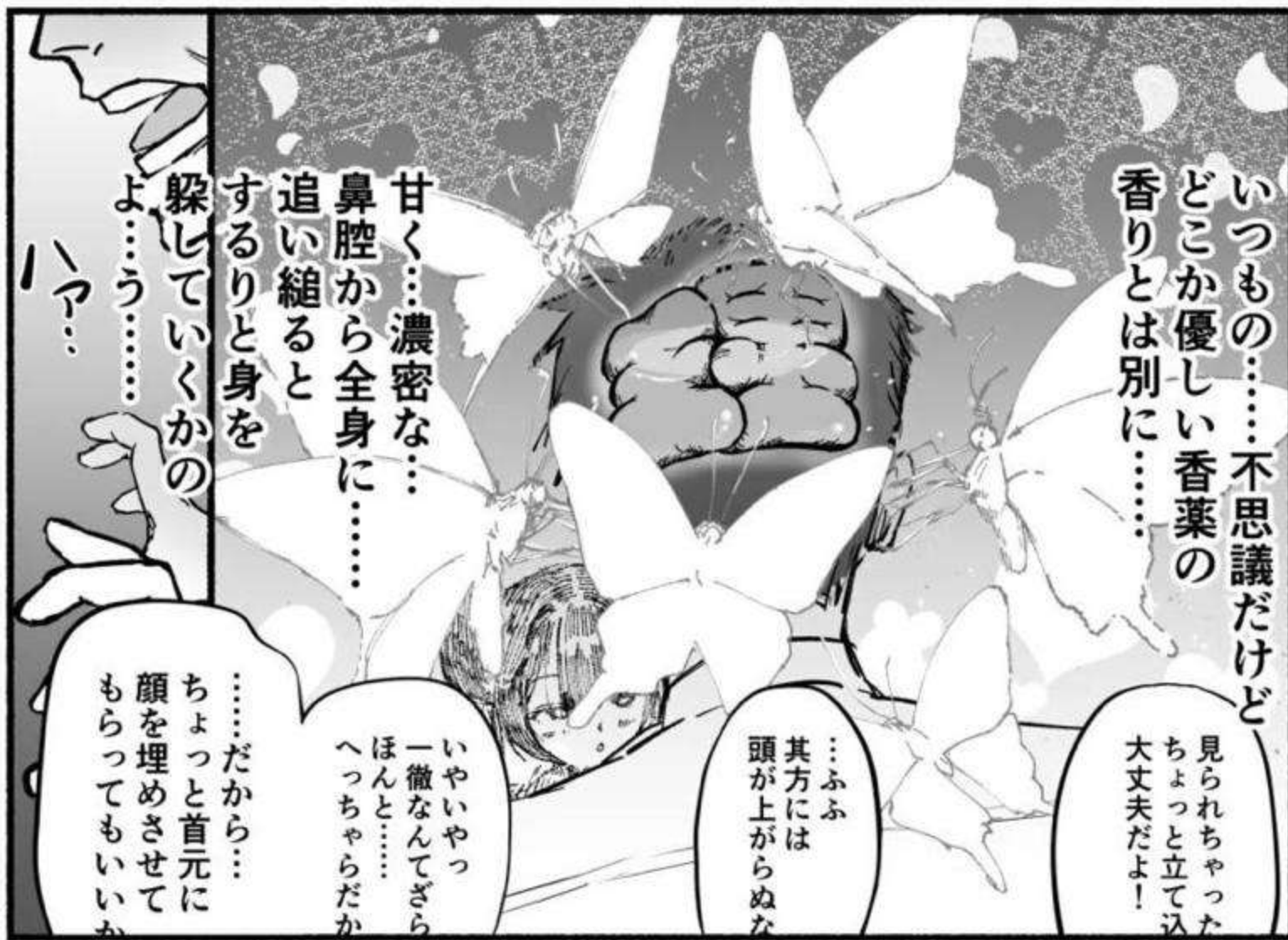
其方の春風は
臥龍の頭上

只
許されていたに
過ぎぬと……



ゴゴゴゴ……







しかしあの様子…
先生にも香の方は
効いているとみて
いいじやろう……

削り合い……じゃな



うん…
形には為ったけど
こんな急造品…
どうするのだ？
……なに…
外せぬ大事が
あるだけじゃ…

あ！それと
解ってる副作用として
血行促進とは別に外的刺激への
そ……そうか…



はあ
図らずも落ちて着く間を
得られたのは
僥倖じゃった…
ズリ…
聞いておらぬぞ…
不意とはいえ
これほどとは…
サヤめ…
きん

さあ、楽しませてくりやれ…先生♥



——
キウオトスの生徒は
皆可愛らしく
正直えっ……
扇情的な生徒も
ちらほら…
……ちらほら？

されど
私は先生！！
生徒に
誑かされるなど
言語道断！！
そしてこれは…



これは貞操でなく

わたくし
先生の矜持
お見せしよう

こころ
心を守る闘い！！
たたか



正直……
まああの数の
生徒たちから
好意のようなものを
向けられている感覚は……
ある……

がしかし
先生というのは
彼女たちの人生において
いざれ忘れ去られる
小さな通過点に過ぎない……

その小さな点が
彼女たちの尊い純情に
徒に干渉していい道理など
ありはしないのだ

彼女たちの
情動そのものを
傷つけることなく……
アプローチをいなす……

至難だが……
やりきってみせる……
そう……大人として！

ザッ

いざ!!



まったく……油断も隙もない……
今日はまだ始まったばかり
しっかりしなくては……

フツフツ……



よい

てて

キサキが小走りしてるの
初めて見た気がする……かわ……い……
じゃなくて！



ごめんね
待たせちゃって……

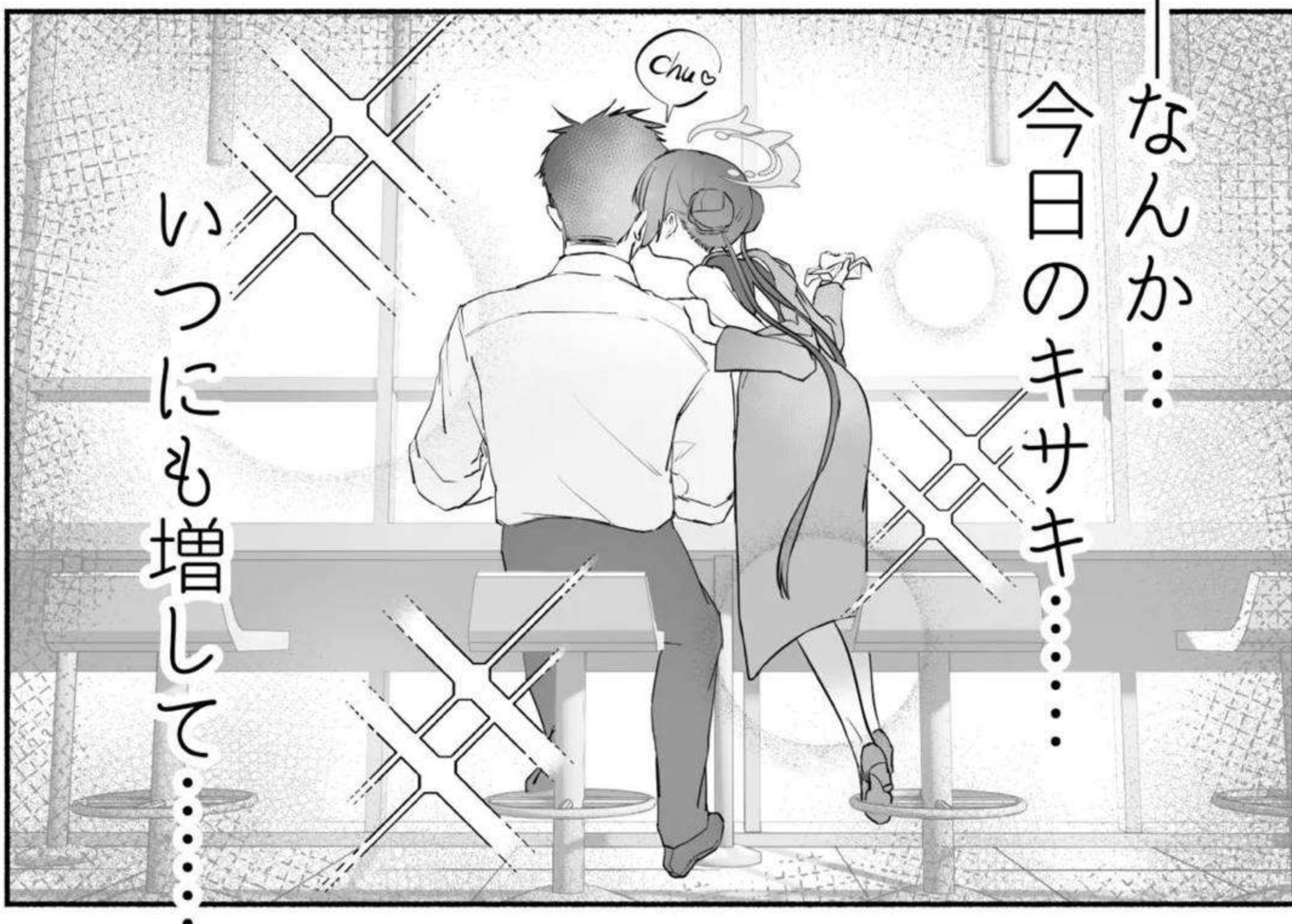


まよ、矜持イイイイイイイ



さあ
行こうかの♡

!?











ふう…

さして



まだ
来てしまった…



ギシ



のわっ

ゴッ



次は其方の
番じゃな

え？



足に疲れが
来ておるのじゃろう？

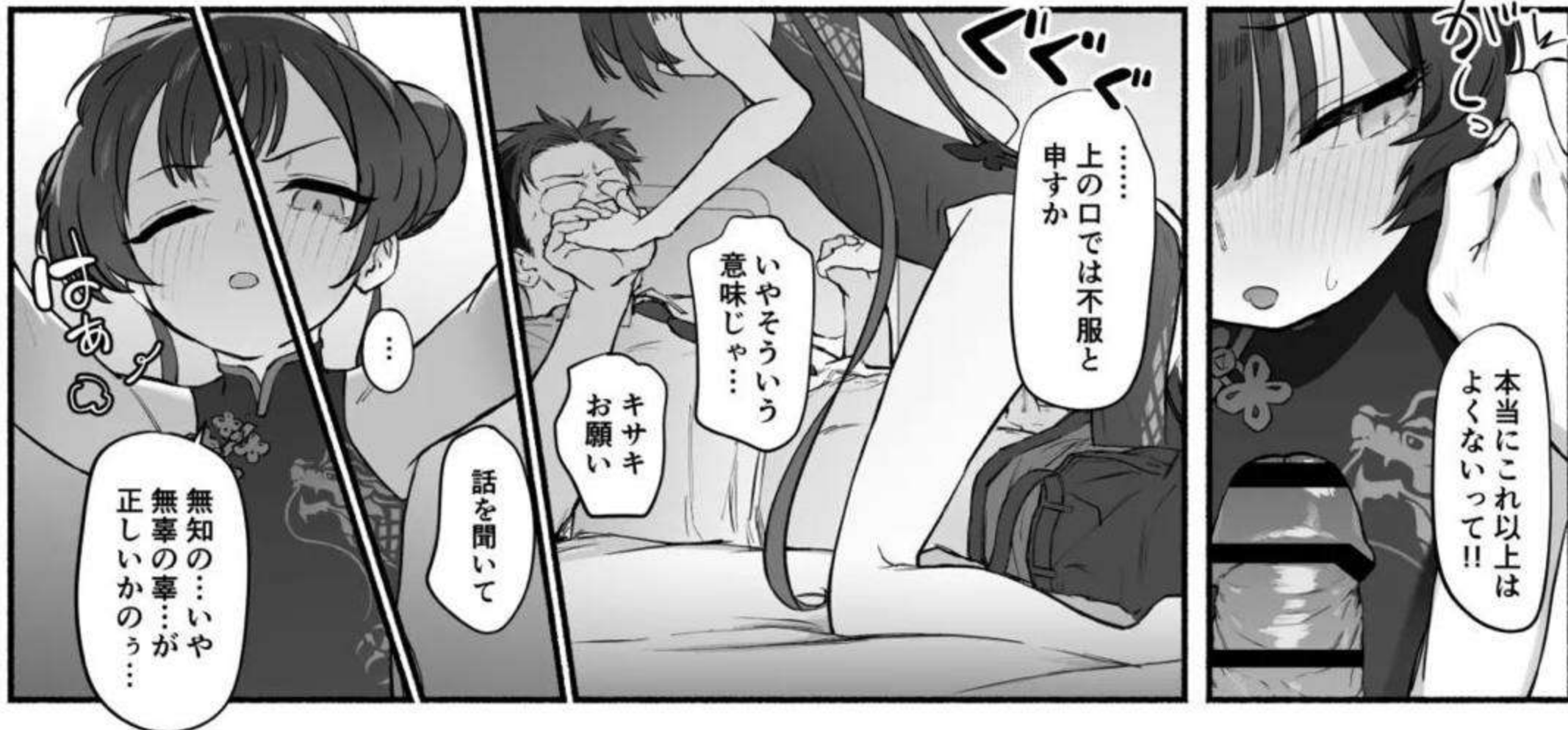
妾が按摩を
してやるといふのじゃ

キサキさん!?

…え…あ……
お手柔らかに…

息が止まるに
なったの…







傍観を
決め込まんと
するそれは

ぬりゅ

其方自身の
言葉を

ひいては
あの荒ら屋の下見た
妾の星を燦らす



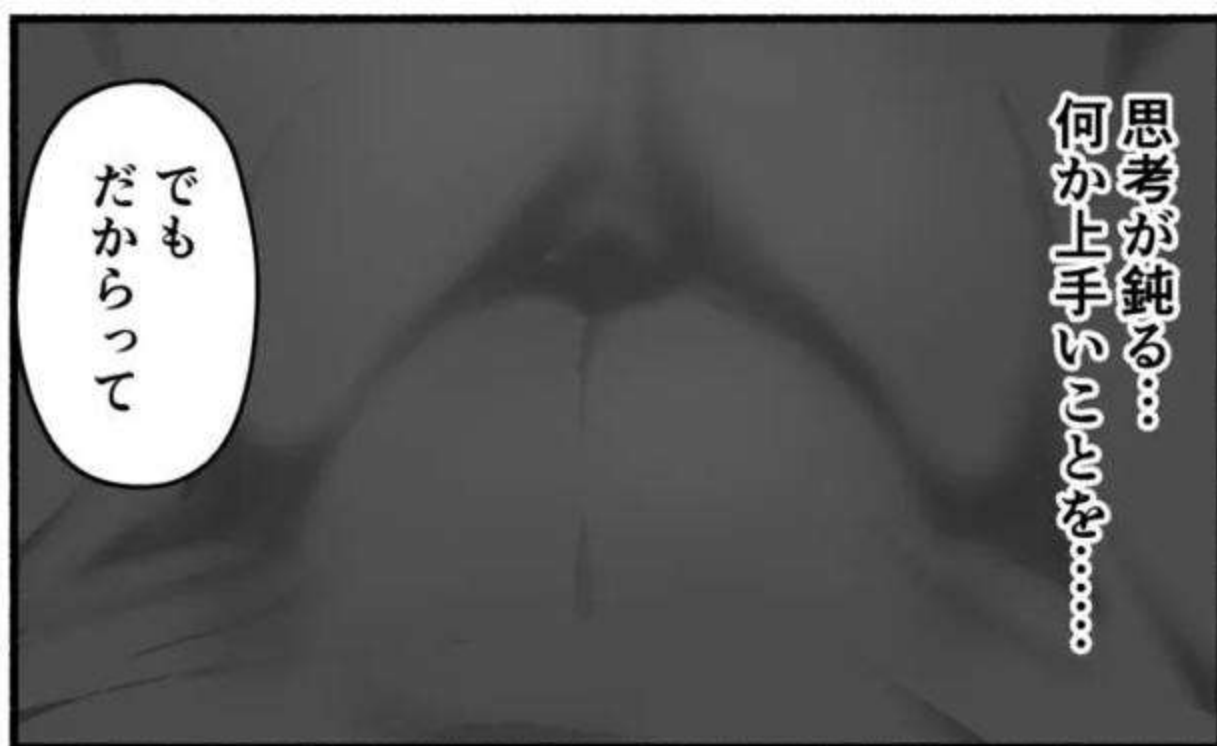
籠の扉を
開くに飽かず

手まで
差し伸べ

挙句
射止めて
おいてなお

にゅ

にゅ



思考が鈍る...
何か上手いことを.....

でも
だからって



ぢゅ

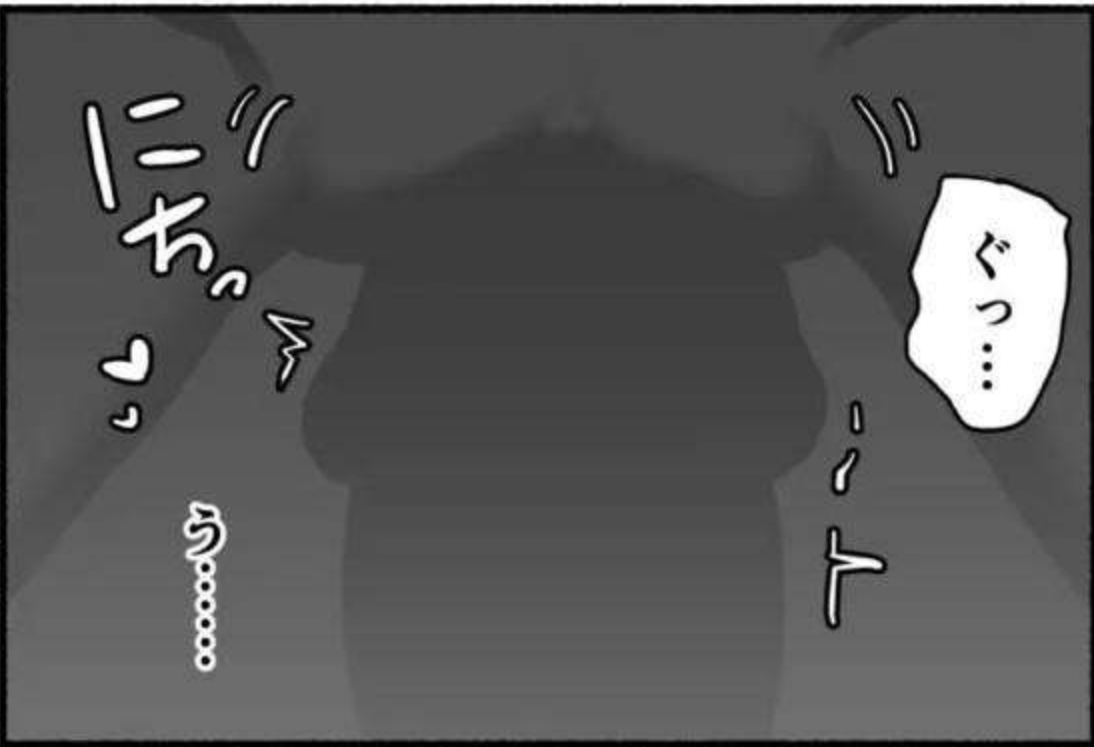
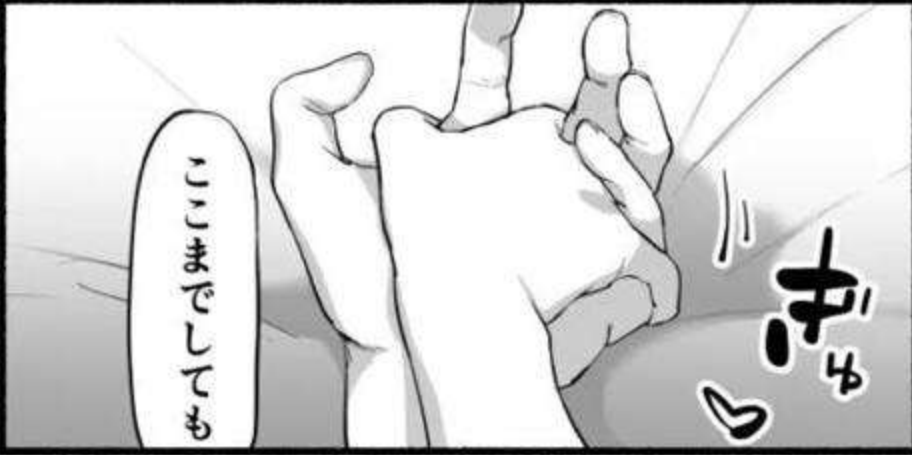


こんなことは
本当に大切な人と...



欺瞞の証明に
他ならぬのでは
ないかえ？

うっ...





ビク

ハッ

ハッ

ツ快感が...
背筋を昇って...

びびびび

の

ハ

ハ

ハッ

ハ

ハッ

ハッ

ビクン

はっ

はっ

あ...

じゅん

痺れるような快樂が...

瞳の奥で弾け...

ちが

ちが

...っ♡ま...まだ...出てるッ

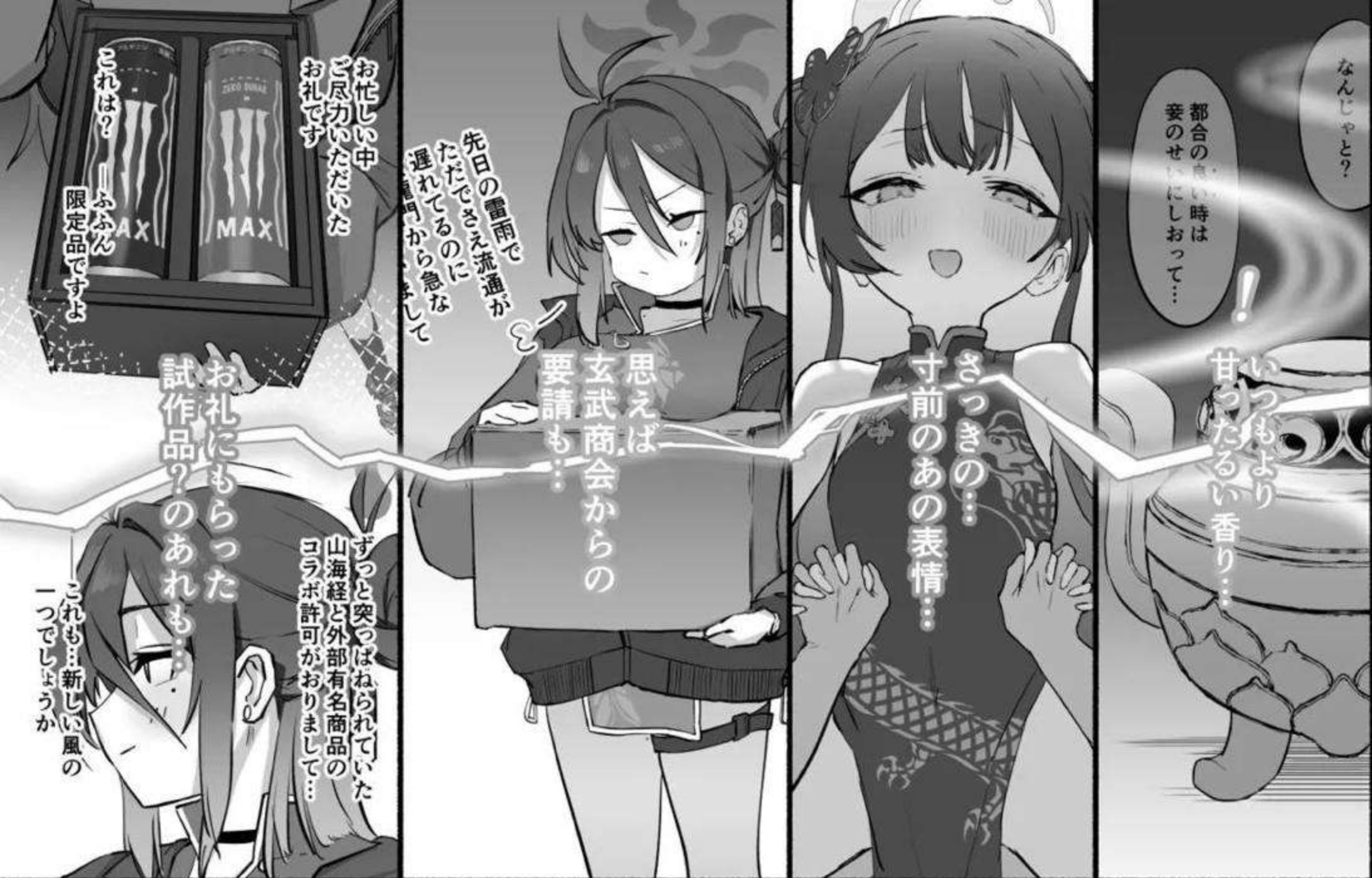
あ♡

っ

は

はっ







くおんの…!!



なんの
ことかのう…?

—じゃが…もはや
言葉も、矜持も

画餅で
あろう?



さっきの余韻も
冷めきってないくせに…

焚き付けたのは
キサキだからね…



ほう?
……よい

妾として
一度で音を
上げられては
興醒めよなあ?



さあ…妾に
此岸を忘れる
悦楽を

刻み込んでくりやれ
せんせい♥♥♥

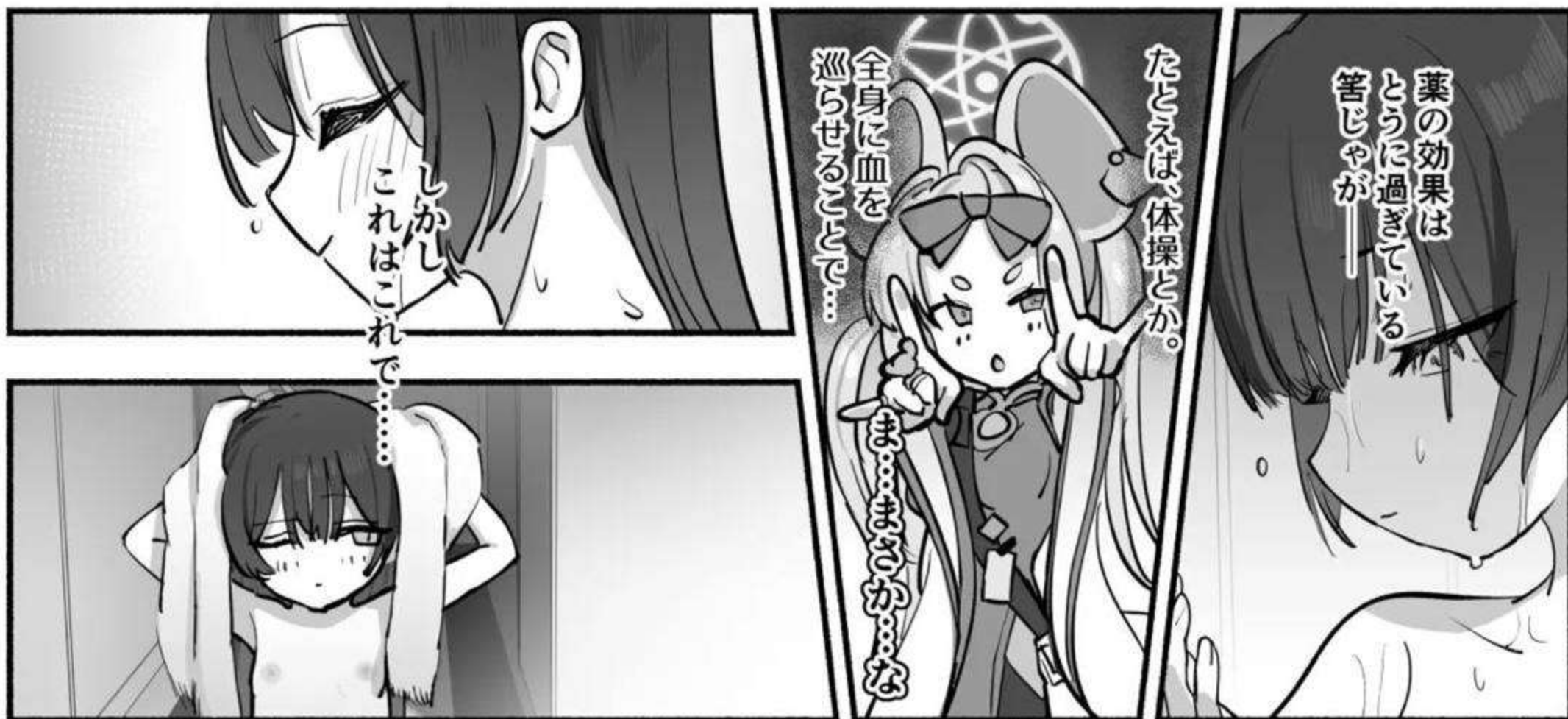


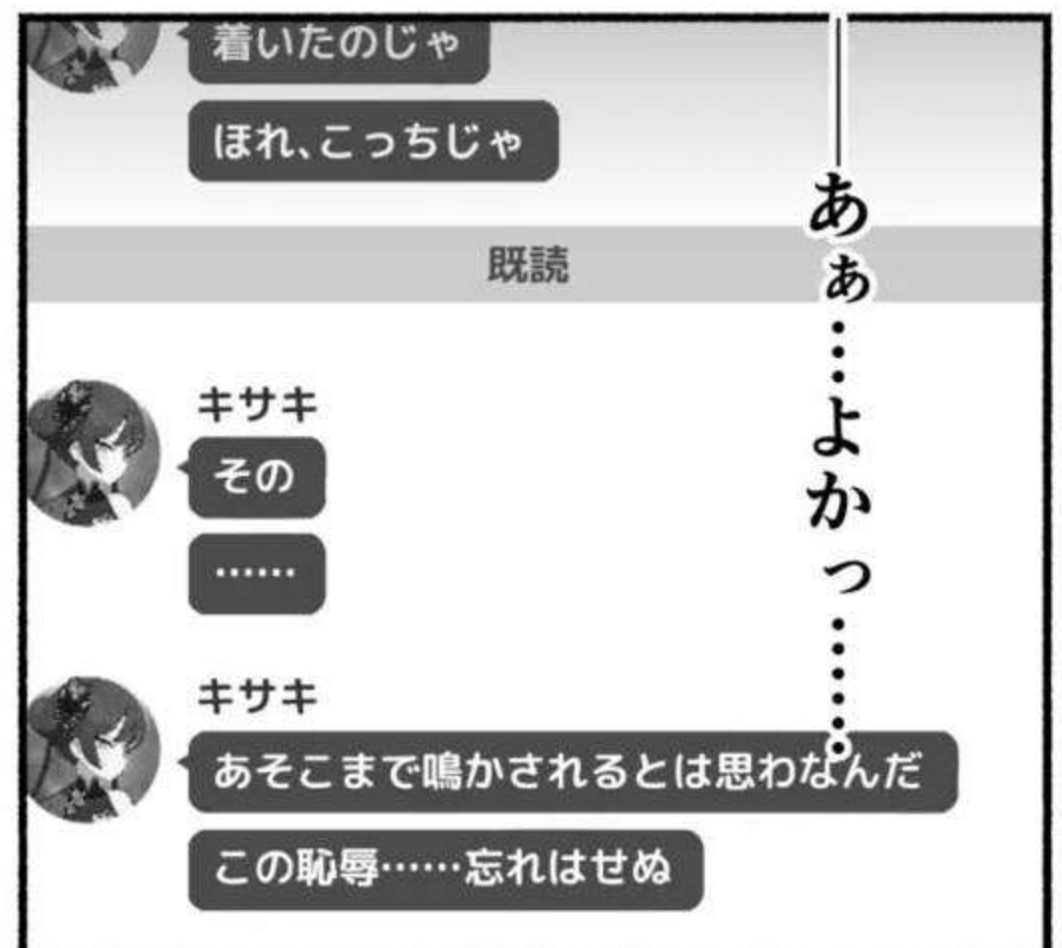
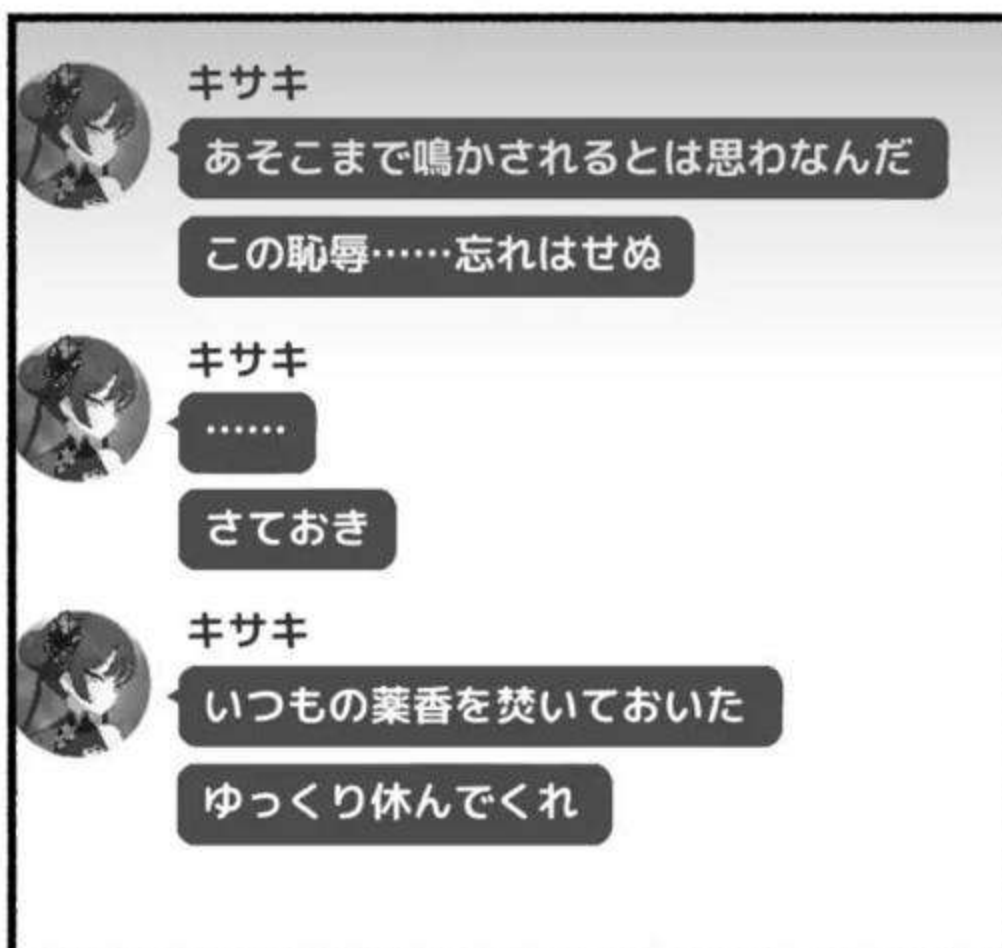
ふあ♥

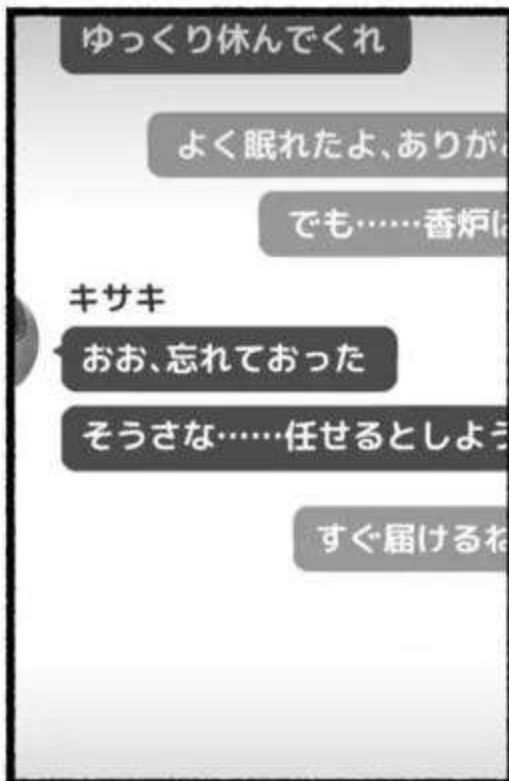












—ミナ

ハッ！
お任せを

コッポッ

門主様が触れないので
言及はしなかったが…

？

額のそれはどうしたんだ…
梅花園の子に悪戯でもされたか？

…額？

気づいてすら
いなかったのか…

??

ふっ…だがまあ…
“すけこまし”だなんて
マセた園児がいたものだな

………なッ！！

フニッ



なんか今日の門主様
機嫌よさそうじゃない？

……そう言われると
そんな気もしてくるが…
いつもあんな風じゃないか？

お前気持ち悪いな

いや…何かあったに違
普段の儚げな可憐さの
いつもと違う艶っぽさ